

## 平成 28 年度 第 1 回中津川市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：平成 28 年 7 月 13 日(水)  
13 時 30 分～15 時 00 分

場 所：健康福祉会館 3 階研修室

出 席：15 名（上田委員、丹羽委員、伊藤委員、時國委員、伊藤委員、渡辺委員、小縣委員、井口委員、安江委員、西尾委員、澤木委員、村松委員、田口委員、神谷委員、木野委員）

欠 席：1 名（柘植委員）

事務局：健康福祉部 次長

地域包括支援センター：草野課長、吉村課長補佐、小原課長補佐、中根係長、森技術主任主査、加地技術主査

事務局 本日は暑いところ公私ともにお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

ただ今から、平成 28 年度第 1 回中津川市地域包括支援センター運営協議会を始めさせていただきます。私は進行を務めさせていただきます地域包括支援センターの小原と申します。よろしくお願いいたします。

本日資料で配布しました 中津川市審議会等の会議の公開に関する指針による。傍聴を申し込まれた方はございませんでしたのでご報告いたします。

本日の協議会ですが、議事録作成のため録音させていただきますので皆様にあらかじめご了解をお願いします。

会議に先立ちまして、副市長より委嘱書を交付させていただきます。

委嘱式

事務局

副市長

それでは ここで 副市長から ご挨拶を申し上げます。

ご紹介に賜りました副市長の大井でございます。本日市長の青山でございますが全国市長会出席のため上京致しております。大変恐縮でございますが私の方から一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

まずもって第 1 回の運営協議会の方に出席賜りまして大変ありがとうございます。今ほど委嘱書をそれぞれ委員の皆様に交付をさせて頂きました。任期は二年でございます。大変お世話になります。よろしくお願いいたします。

さてご承知のように合併して 12 年目を迎えております。早いもので 12 年目に至ったものですが、この間合併して 10 年もの間になんと 84,000 人の人口が 79,000 人になったということで約 5,000 人減少しております。5,000 人も減少して大変なことだということですが依然として減り続けています。市としましては定住対策等、大変力を入れているところでございます。それでもなおかつ減り続けているような状況でございます。

こんな中で人口は減ったのですが、世帯数としては増加傾向でございます。特に高齢者世帯や独居世帯が増加しているということで、この辺については後程資料 2 で説明があらうことかと思っております。また一つ大変心配することにつきまし

ては 65 歳以上の高齢者の方々の認知症になる割合がとても高いということで、10 人に 1 人の方が認知症になられている、そんな報告を受けております。

こうしたことに対応するために地域包括支援センターという形で市民の皆様が本当に住み慣れた地域で引き続き安心して暮らして頂くために、どうしても相談を受ける場所・あるいは支援をして頂けるような場所、そんな所が必要だということで、包括支援センターを設けさせて頂いております。

地域包括支援センターにはランチとして市内 13 か所に在宅介護支援センターを設けさせて頂いておりますが、この在宅介護支援センターの 13 か所というのは県下に一番多い数でございますので中津川市としてはこの部分についてずいぶん力を入れさせて頂いております。そんな状況でございます。

一方で人口が減少しているが、高齢化は進んでいるがそう嘆いてばかりもおられません。私どもは今住んでみえる方々に健康で長生きしていただく取り組みもさせて頂いております。健康都市宣言という形で健康作りを進めようということで、市民の皆さんとともに一緒に取り組みを始めさせて頂いております。特に健康寿命と言われている部分について、もっともっと伸ばして頂いて一生現役で健康で暮らして頂ける、そんなことが大切かなと思っています。是非皆様から色々なアドバイス等賜りたいと思います。

この地域包括支援センターは、全体的な中核的な機関でございますので本日皆様方には包括支援センターの事業等についていろんな角度からアドバイスを頂きまた評価もして頂き、今後の取り組みに生かしてまいりたいと考えますので、今後とも是非ご指導賜りますようお願い申し上げまして冒頭のご挨拶と代えさせて頂きます。大変お世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局

続きまして、協議会等の設置に関する要綱第 5 条第 2 項に「会長及び副会長は、委員のうちから互選する」ということになっていきますので、会長及び副会長の選出をお願いいたします。

立候補ありますか。

委員

立候補なし

事務局

無いようですので、推薦をお願いします。

委員

会長に、社協の田口 良典（ヨシノリ）様

副会長に、中津川歯科医師会 伊藤雅之様をお願いします。

ただ今、伊藤様から会長に田口良典様 副会長に伊藤雅之様と推薦を頂きましたがいかがでしょうか。

委員多数

異議なし

事務局

会長、副会長からあいさつをお願いいたしたいと存じます。

会長

みなさんこんにちは。社会福協議会の田口です。今回社会福祉協議会の代表としてこの運営協議会の委員を受けまして会長をおおせつかりました。大変な役割だということで緊張しておりますが、会長をいうことで本当に恐縮しています。本当に私どもで良いのかと思いながらもやらせて頂いております。人生で会長というものはじめてなもので本当に恐縮しております。

副会長

中津川市の地域包括ケアを進める上で、この地域包括支援センターが大切な役割を持っております。全体運営が適切・公平にできるように運営協議会を進めてまいりたいと思います。何分この会をまとめる力を私は持っていませんので、副会長の伊藤さんをはじめ委員の皆様のお力をお借りいたしまして協議会を進めてまいりたいと思います。宜しくお願いします。

副会長の伊藤でございます。宜しくお願い致します。

先般、県の医療福祉連携推進課が主催した在宅医療介護連携推進研究会が東濃保健所で開催された。その中で国から県へ、そして市で行う事業として地域在宅医療連携がある。地域として地域在宅医療連携コーディネーターの話もあった。設置場所として地域包括支援センターにあってもよいのではないかという話があった。中津川市でもそういう体制が必要になっていくことを勉強し話をしていければと思う。よろしくお願いします。

―副市長 退席―

―職員自己紹介―

事務局

委員の皆様につきましては、お手元の名簿をもってご紹介にかえさせていただきます。

それではお手元の資料の確認をさせていただきます。

本日のレジメ、委員名簿、資料 1～4、中津川市の協議会等の設置に関する要綱。 参考資料として地域包括支援センター運営方針

本日配布させていただいております資料は 席表、認知症まもりのわガイド、介護医療連携ガイドマップ、認知症カフェの開催案内のチラシ、中津川市審議会等の会議の公開に関する指針 以上でございます。

本日は、栄養士の代表である柘植様が欠席ですが、委員の過半数以上の 15 名の方の出席がありますので協議会が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、要綱第 6 条に従いまして、「会長が議長となる」ことになっておりますので、田口会長に議長をお願いいたします。

会長

ただいまから、議題に入りたいと思います。6 議題の(1)「地域包括支援センターの概要について」事務局の説明をお願いします。

事務局

―資料に基づき説明― 【小原説明】

会長

事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

委員

―意見なし―

会長

引き続き(2)「平成 27 年度事業実績について」事務局の説明をお願いします。

事務局

―資料に基づき説明― 【吉村・森説明】

会長

事務局の説明について、委員の皆様ご質問やご意見はございませんか。

委員

最後に説明のあった介護認定のことで要支援の方が 967 名で、約 270 名の方が介護保険を未利用であるが、市としてこういうことをしているなどしていることがあれば教えてください。

会長

事務局説明をお願いします。

事務局	300 名ほどの方が未利用であるのですが、電話をし、訪問させていただいている。介護保険の説明をしている。「将来のために申請している。」とか「心配なのでつづけていきたい」と言われることが多い。今後も訪問等で介護保険のサービスとか介護予防のサービスがあるので利用の提案を勧めていくが、「更新時に介護保険を申請されますか。」と聞いているが、「とにかく今は心配がなく、今はいい。」と言われる方が多い。
委員	次の来年度の事業計画にも関係すると思いますが、いろんな事業をやられて、ケアマネとか訪問し、支援者の方が、いろんな計画を立てられた時にアンケートをとるなどされているのでしょうか。行かれた場所の、支援をうけた方に、とにかくフィードバック 受けられた人に行っているか。こういったフィードバックがないと、次に何をするかということが少しあやふやになる。認知症のことだけで、行った方の認知症の方の中だけで次の政策が決まっていくとなかなか難しい。次の政策をどんなことをしていくといいのかという、直接された方にいろいろアンケートをとって、ひとつひとつ吟味が必要だと思う。先を考えるとよいかと思いました。
委員	先ほどの 270 人の未利用の人についてですが、独りの方の認定の費用がかかっているわけですが、いくら位かかっているか理解を深めてもらって無駄な認定をしなくても、みなしで使えることを市民に教育していかないと減っていかない。そういう具体的な説明をしないと「心配だから申請したい」という人をできるだけ減していく努力を行政はしてもらっていいと思う。認定をするのに 4 万円かかるのだよ、みなしでサービスは使えるからと率直に説明して市民に安心をあたえる方がよいのではないかと思いますので一つ意見を言わせてもらいました。
	あんきなくらぶについていつも思うことだが、認定していない人が対象と思うが、認定されているのに利用している人がいて、利用する前にあんきなくらぶの性格についてこういうものと説明をしていくことを徹底していくべきではないか。要支援に認定されて、利用している人もいると聞いた。
事務局	未利用者については、具体的なことを伝えていきたい。介護予防の必要な方には紹介していきたい。
	あんきなくらぶについての意見について、昨年度から利用開始時に説明の資料を作成して、面談して担当者からきちんと説明することをはじめた。高齢者の理解がどれだけできるかという課題もあるが、利用開始時にきちんと説明をする。
会長	その他に、ご意見ご質問等がありますか。よろしいですか。
事務局	引き続き (3)「平成 28 年度事業計画について」事務局の説明をお願いします —資料に基づき説明— 【吉村・小原・中根・森・加地説明】
会長	事務局の説明について各委員のご意見、ご質問はありませんか
会長	認知症の見守り事業に対して、ご意見はありませんか
委員	今は提議できるような意見はない
会長	それでは、次の (4)「平成 28 年度介護予防支援業務の委託先について」事務

	局の説明をお願いします
事務局	—資料に基づき説明—
会長	【加地主査説明】
委員	今の件につきましてご意見・ご質問はありますか。
会長	—意見なし—
委員	ありがとうございました。その他何かご質問がありますか。
	—意見なし—
	特に何も無いようですのでこれをもって本日の議題の審議等すべてを終了させていただきます。長時間にわたり熱心にご討議を賜り大変ありがとうございました。
事務局	田口様長時間にわたり議長を努めていただきまして、誠にありがとうございました。
事務局	今日は貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。今後の資料とさせていただきます
	先にいただいた質問で支援者へのアンケートやフィードバック等については、不十分な点がありますが、今後取り組んでいきたいと思います。
	高齢化が非常にすすんでいます。その中で地域の見守りが大切になる。皆さまも地域で異変やお気づきの点がありましたら、高齢支援課・在宅介護支援センターの方へ連絡をお願いします。
事務局	閉会の言葉を 副会長の伊藤様より頂戴いたします。
副会長	お疲れさまでした。皆様からご意見をいただきましたので、行政の方で今後継続して対応をお願いします。
事務局	次回は 2 月頃を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。